事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和02年06月24日（水）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4526
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市警防規程 ・高圧ガス保安法 ・鉄砲刀剣類所持等取締法				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速・確実かつ安全な救助活動を推進している。
目的 ※何のために	市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。
対象 ※誰・何を対象に	市民の生命、身体及び財産。
手段 ※どのように	複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練・研修等を実施し技術・知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検及び整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。
成果 ※何を求めるか	各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 救助活動等災害対応業務	・ 救助活動記録票、統計及び即報の作成業務
・ 救助資器材の維持管理業務	・
・ 各種救助訓練の立案、調整、実施に関する業務	・
・ 中高層建築物等の警防計画業務	・
・ 管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発	・
・ 消防救助技術指導会の立案、調整、実施に関する業務	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費相当試算 ※1	777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	救助出場件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		45.00	74.00	55.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救助出場件数のため目標値の設定に値しない。							
		出場件数									
■	活動指標２	訓練・研修回数	目標値	回	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	□
			実績値		32.00	32.00	32.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画表に基づく訓練実施回数。（消防救助技術指導会訓練を除く。）							
		実施回数									
□	活動指標３	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%の資器材点検を目標とする。							
		実施日／３６５日×１００									
■	成果指標１	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率。							
		使用可能数／全資器材×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 出場件数については、平成３０年度より１９件減少した。訓練・研修回数は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施した。資器材点検は装備品を含めて日常・週間・月例点検を計画どおりに実施した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 車載している資器材は、救助隊が出場し救助活動を実施した事案はもとより、訓練時においても異常なく使用できたため、使用可能率は１００%を達成できた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	救助係長　町田敏之・飯野一也

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	資器材適正配置に伴い特殊部隊が構成されたことから、専門的な知識および技術の向上を目指さなければならない。
達成状況 及び その効果	潜水士・船舶・ロープレスキュー・フレームワーク等の各種資格取得を進め、さらに特殊部隊としての訓練を重ねたことで、知識・技術の向上を図ることができた。その結果、災害時には安全・確実・迅速に活動することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4526

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

本事業は、市民の安全・安心を確保するうえで欠かすことのできない事業である。年間訓練計画に基づいた訓練及び自隊訓練を実施し、訓練毎に評価・検討を行い隊員育成を図るとともに、車両積載資器材の維持管理を実施し、多種多様化する災害に対して安全・確実・迅速に対応するため現状のまま継続していく。

評価者	花園消防署長兼花園消防課長　太田原　健二

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

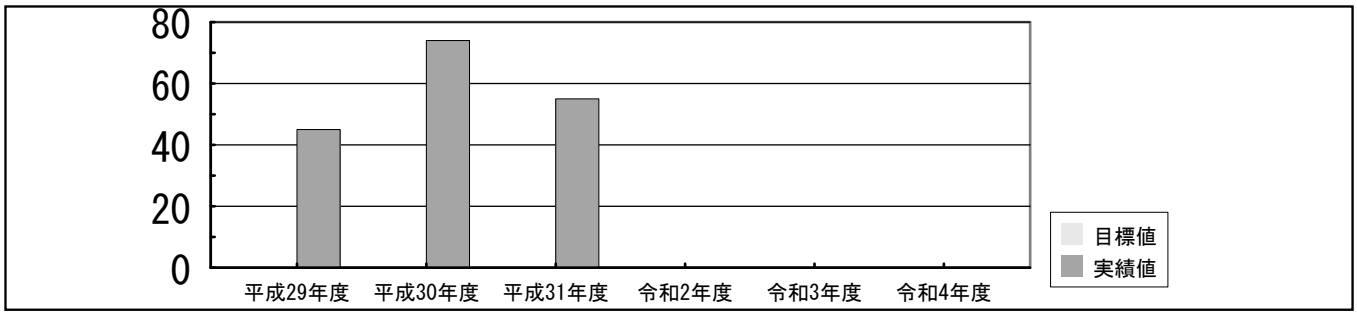
改善・改革案	特殊部隊として、自隊の活動能力向上が必要であるとともに、災害時には他隊との連携が求められる。そのため、資器材及び人材を有効に活用した災害対応を目的とした訓練を中隊だけでなく、分署を含め実施していくことが必要である。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

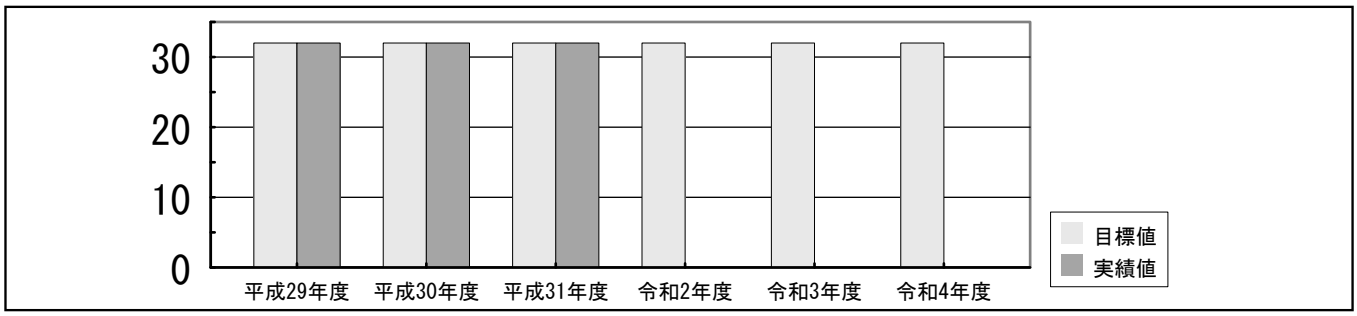
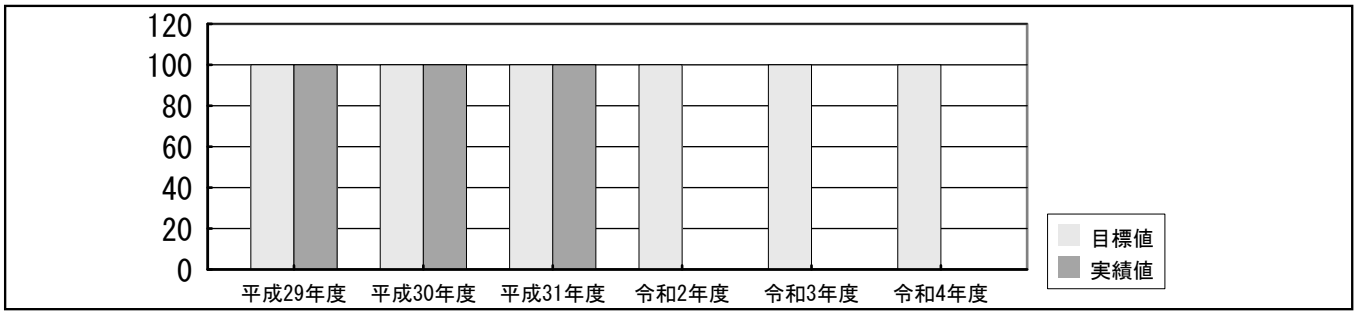
今後の課題	災害現場では、現在感染拡大している新型コロナウイルスを含め、様々な感染症による職員への感染防止徹底を図ることが必須で、感染者及び感染疑いである要救助者と接触した場合に備え、職場での集団感染を防ぐマニュアル等の策定が必要である。 また、救助資器材の中には、高額で特殊な仕様のものがあるため、経年劣化及び耐用年数を考慮した維持管理や更新計画の策定が必要である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	救助出場件数（暦年）



区分	活動指標２	指標名	訓練・研修回数



区分	成果指標１	指標名	資器材常時使用可能率